

職員による自己評価

A 環境面

配置スタッフはたりている。

B 児童への支援内容

共通した支援ができるように勉強会、研修会などを増やしたい。

C 関係機関との連帯

保護者とは送迎時や連絡帳などで関わっているが学校、地域など連帯はあんまない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

座談会はなどの機会はないが半年に1度の面談期間があるため共有できるようになった。

E 非常対応

アレルギーなどは医師からではなく保護者からの情報で、不安になることもあるが量などは保護者から必ず教えてもらう。

保護者による評価

A 環境面

環境、体制整備は9割の方が【はい】に記入。

B 児童への支援内容

児童館との交流会、障害のないこどもの活動する機会がなかったため【いいえ】が多い。

C 事業所からの情報発言

父母の会、保護者会などが少なかったのもっとあってほしいとの声を頂きました。

D 非常対応

避難訓練を毎月必ず行って親御さんにも伝えてたので【はい】が多かったでした。

事業所内での分析

【共通店】

支援や活動に関しては満足

【相互点】

満足度は高いものの事業所側からは支援や活動を濃くするため勉強会を増やしたほうが良いと意見が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

6年目にして満足度が継続できており
送迎の際に【いつも本当に感謝しています】
【すごく楽しく行っている】などと言って
いただき子供たちの充実した放課後支援がで
きていることに感じます。

事業所の改善点

児童の対応に関してスタッフのスキルがまだ
バラバラなので勉強会、研修会に出てもら
うようにします。

事業所の改善への取り組み

共通した支援を行うため社内研修、勉強会で得たものを共有したり
研修会などの参加を増やして、より良いものを提供できるようにします。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回初めてアンケート結果を見て活動など支援内容の満足度の意見がスタッフの
大きな励みにもなって今後もそう言ってもらうようにスタッフと工夫をして支援を考えていきたい。

事業所名 もみじのて KIDS 鶴見

担当者 松岡 亮